

日本分類学会連合ニュースレター

*News Letter published by the Union of  
Japanese Societies for Systematic Biology*

No. 37 [2021年6月14日]

## 日本分類学会連合のトピックス

### 第20回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第20回公開シンポジウム「分類学のすすめ—未来の分類学者に向けて—」が、2021年1月9日(土)にオンラインで開催されました。コロナ禍の下でのオンライン開催という選択でしたが、盛会となり、189名の参加がありました。シンポジウムの要旨は、日本分類学会連合公式ウェブサイトの以下のURLからダウンロードできます。

[http://www.ujssb.org/sympo/pdf/20\\_2021\\_.pdf](http://www.ujssb.org/sympo/pdf/20_2021_.pdf)

\*\*\*\*\*

### 特別寄稿

#### 国立沖縄自然史博物館設立へ向けての新展開

岸本健雄<sup>1</sup>・馬渡駿介<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(一社)国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事  
お茶の水女子大学客員教授

<sup>2</sup>(一社)国立沖縄自然史博物館設立準備委員会理事  
北海道大学名誉教授

国立の自然史博物館を沖縄に設立することを目標に、(一社)国立沖縄自然史博物館設立準備委員会<sup>(1)</sup>が活動を続けていることはご存じの通りです。2021年5月10日(月)に沖縄・奄美世界自然遺産の登録勧告が発表されたことは、活動への強い追い風になると考えています。その他、国立沖縄自然史博物館設立に関連する新展開が最近ありました。ここではそのうちの重要な三件、機関誌の発行、国立自然史博物館設立の法制化提言および一般市民向け紹介について、準備委員会を代表してご報告させていただきます。

まず一件目は、機関誌「ナチュラル ヒストリー ミュージアム」の発刊です。その第一号は2020年11月22日に発行され、228ページ+法人規定9ページ=237ページの大部となりました。内容は「[特集]日本で初めての国立自然史博物館の設立に向けて」(18ページ)と「資料編」(なんと全210ページ)に分かれています。続いて2021年6月10日には第二号が刊行されました。内容は、第1回沖縄シンポジウム(2014年12月6日開催)の記録集と、松浦啓一氏からの寄稿「世界の自然史博物館」です。上記法人のホームページを開き、「Publication」欄をクリックしていただくと、機関誌「ナチュラル ヒストリー ミュージアム」という見出しが出て、その下に「No. 2」、さらにその下に「No. 1」

が並んでいます。それぞれの項の“PDF”をクリックしていただくと号全体を読むことができ、ダウンロードも可能です。No. 1は資料編が少々長いので、その部分を除いた“抜刷版PDF”も用意されています。お読みいただければ幸いです。

二件目は沖縄県から国への提言「新たな沖縄振興のための制度提言」です。沖縄県庁ホームページ<sup>(2)</sup>に2021年4月22/30日付けで公表されたこの制度提言では、次期の沖縄振興特別措置法において「沖縄での国立自然史博物館設立を法制化する」ことを目指しています。県庁HPにアクセスしていただくと、その中の「将来像1」の5(p.30~p.32、特にp.31)において、“沖縄振興特別措置法で「沖縄に国立自然史博物館を設立する」を新規に規定する”と明言されています。これは2020年3月に沖縄県が公表した「新沖縄発展戦略:新たな振興計画に向けた提言」や2020年11月に公表された沖縄経済同友会からの提言「新・沖縄振興計画2022」<sup>(3)</sup>において“国立自然史博物館の誘致”が提言されていたことを踏まえており、国の次期沖縄振興計画に載せるための条件を満たすものといえます。しかし、「沖縄振興特別措置法や沖縄振興計画の単純延長はない」といった趣旨の与党国会議員の発言等も報道されており、今後、国の了承を得るには、相当の努力が必要となりそうです。

三件目は、沖縄県立博物館・美術館開催の特別展に端を発した、国立沖縄自然史博物館設立構想の一般市民向け紹介です。沖縄県立博物館・美術館では、2021年7月21日~9月20日に特別展「みんなの進化展~命はつながっている~」を開催すべく準備を進めています。そして、館側のありがたい配慮により、この特別展にて国立沖縄自然史博物館設立構想を一般市民向けに紹介できることになりました。これは沖縄県環境部による「令和3年度国立自然史博物館誘致推進事業」の一環として実施するものです。さらに、美ら海水族館(沖縄美ら島財団)もそれにあわせて展示スペースを準備してくれました。沖縄県立博物館・美術館開催特別展の来館者数は数千人(コロナ禍でなければ1万人超)が見込まれ、美ら海水族館(年間300万人超、昨年度はさすがに60万人)では環境省による世界自然遺産展示に隣接しての展示が可能とのことでした。

国立沖縄自然史博物館設立活動は、アカデミア(学術会議・学会など)・行政(沖縄県庁)・経済界(沖縄経済同友会)でそれなりに知られてきましたが、一般市民にはほとんど浸透していません。学会でシンポを開催しても、出席者数はせいぜい100名前後ですが、今回の件では、国立沖縄自然史博物館設立活動を数十万人(?)にアピール可能です。設立活動が「一般市民の心をつかむ」ための絶好の機会とすべく、活動が始まろうとしています。

(1) <https://sites.google.com/view/okinawa-natural-history-museum>

(2) <https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kikaku/chosei/seidoteigentyukan.html>

(3) <http://okidouyukai.jp/wp-content/uploads/2013/10/1e540eb5255120cd6bb7bbcf1d4248951.pdf>

会期：2021年9月17日(金)～19日(日)  
会場：オンライン開催(ホスト：京都大学)  
詳細：<https://acarology-japan.org/taikai/30-2021/ja/about/>

\*\*\*\*\*

### 日本分類学会連合加盟学会の 大会・シンポジウム情報

新型コロナウイルスの流行状況によって、様々な学会で大会・シンポジウムのスケジュールや実施方法の変更が行われる可能性があります。各加盟団体のホームページから最新情報を入手してください。

#### 日本魚類学会

2021年度日本魚類学会年会  
会期：2021年9月17日(金)～20日(月)  
会場：福井県立大学永平寺キャンパス(永平寺町)  
詳細：<http://www.fish-isj.jp/event/>

#### 日本菌学会

日本菌学会第65回大会  
会期：2021年8月23日(月)～29日(日)  
会場：オンライン開催(ホスト：京都大学)  
詳細：<http://www.fungi.skr.jp/index.php/home>

#### 日本原生生物学会

第54回日本原生生物学会大会  
会期：2021年11月21日(日)～22日(月)  
会場：オンライン開催  
詳細：<https://sites.google.com/view/jsp2021>

#### 日本古生物学会

2021年年会  
会期：2021年7月2日(金)～4日(日)  
会場：オンライン開催(ホスト：岡山理科大学)  
詳細：<http://www.palaeo-soc-japan.jp/events/>

#### 日本昆虫学会

日本昆虫学会第81回大会  
会期：2021年9月4日(土)～6日(月)  
会場：オンライン開催(ホスト：法政大学)  
詳細：<http://www.entsoc.jp/meeting/2021/>

#### 日本進化学会

日本進化学会年大会 第23回 東京大会  
会期：2021年8月18日(水)～21日(土)  
会場：東京都立大学南大沢キャンパス  
+オンライン開催  
詳細：<https://evolgen.biol.se.tmu.ac.jp/sesj2021/>

#### 日本蘚苔類学会

日本蘚苔類学会第50回記念宮崎大会  
会期：2021年9月3日(金)～5日(日)  
会場：国際交流センター小村記念館(日南市)  
詳細：<https://www.bryosoc.org/>

#### 日本ダニ学会

第30回日本ダニ学会大会

#### 日本爬虫両棲類学会

日本爬虫両棲類学会 第60回大会  
会期：2021年9月18日(土)～19日(日)  
会場：オンライン開催  
詳細：[http://herpetology.jp/meeting/2021/index\\_j.php](http://herpetology.jp/meeting/2021/index_j.php)

#### 日本プランクトン学会

ベントス・プランクトン合同大会 2021  
会期：2021年9月17日(金)～20日(月)  
会場：オンライン開催(ホスト：鹿児島大学)  
詳細：<https://sites.google.com/view/benpla2021/>

#### 日本哺乳類学会

日本哺乳類学会 2021年度大会  
会期：2021年8月28日(土)～31日(火)  
会場：オンライン開催(ホスト：東京農業大学)  
詳細：<https://www.mammalogy.jp/conf/2021/index.html>

\*\*\*\*\*

### TAXA —— 生物分類学メーリングリスト

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第2条)」として、2002年1月12日に設立されました。現在、分類学に関係の深い27の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほか、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようお願い申し上げます。

2003年12月21日  
日本分類学会連合  
代表：加藤雅啓

〈TAXA〉は2003年12月13日に開設され、2003年12月24日午後5時に稼働開始しました。2020年4月1日より新サーバーでの運用を開始しています。2021年6月4日の時点で978名の会員が登録されています。入

会を希望される方は、

- 1) メールアドレス
- 2) 氏名(日本語表記ならびにローマ字表記)
- 3) 所属

を明記の上、office@ujssb.org までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

[編集後記]

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛 (antist@tmu.ac.jp) に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。  
(ニュースレター編集担当: 江口克之)

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第37号

2021年6月14日発行

発行者 日本分類学会連合

事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館・筑波研究施設内

編集者 江口克之 (東京都立大学院理学研究科)

\*\*\*\*\*